

参加無料

なるべく前日までに事前申し込みをお願いいたします。
お申し込みがなくても当日空きがあればご参加いただけます。

原発事故から4年 ～福島学びと地域づくりへの道： 地元NPOの視点から

日時

2015

3/17 火

9:15 ~ 12:00

会場

TKP ガーデンシティ仙台 (仙台駅西口アエル内)
30階ホールD

主催

防災世界会議ふくしまCSO連合*



福島第一原発事故から4年。その大きな影響は今も続いています。原発建設の経緯から事故の後起きたこと、そして現在にいたるまでの道筋を、福島県内で活動を続けてきた地元NPOスタッフの視点からあらためて振り返り、原発に依存しない、これからの地域づくりに必要なことを考えます。

第一部 トークセッション 福島で起きたこと

1 福島第一原発建設～
原発建設と事故、避難
【大熊町の場合】

スピーカー

阿部 光國

大熊町町議会議員



2 原発事故～
届かない情報、困難を極めた
要援護者の避難

スピーカー

高木 健

福島県社会福祉協議会
老人福祉施設協議会
復興委員会事務局長



3 現在の状況～
福島子どもたちは今

スピーカー

本多 環

福島大学つくしま
ふくしま未来支援センター



第二部 パネルディスカッション

原発に依存しない地域をどうつくるか —福島市民社会の視点から

* 防災世界会議ふくしまCSO連合とは？

このシンポジウムを共同企画した被災者・復興支援にかかわる福島県内のNPO、大学の連合体。一般社団法人ふくしま連携復興センター、NPO法人つくしまNPOネットワーク、認定NPO法人ふくしまNPOネットワークセンター、NPO法人福島県有機農業ネットワーク、NPO法人シャローム、福島大学つくしまふくしま未来支援センター、NPO法人ふくしま地球市民発信所の7団体で構成されている。